

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	イー・ステージ株式会社					
代表者名	氏名	鈴木 宏信	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	長野県小諸市大字平原309番地1					
主たる事業の分類	大分類	R サービス業（他に分類されないもの）				
	中分類	88 廃棄物処理業				
主たる事業の概要	一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬、中間処理及び最終処分					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	1,534	1,488	1,381	1,567	1,554
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,235	3,138	2,876	3,345	3,300
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	66		65	65	63
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	1,749		1,561	1,621	1,534

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020	年度～	2022	年度
報告対象年度	2022	年度					

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	施設管理部 事務所により営業時間内（8：30～16：00）閲覧可能 連絡先（0267）25-8888
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

ISO14001の行動計画により環境目標（燃費 t/kℓ）を定め進捗管理を行う

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

ISO14001の組織と同じ組織で対応（別紙1参照）

5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

事業推進会議 月1回

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,235	t-CO ₂	処理量	16.16	単位	千t
2019年度	調整後排出量	3,235	t-CO ₂	基準原単位	200.19	t-CO ₂ /	千t
目標年度	目標排出量	3,138	t-CO ₂	目標原単位	194.18	t-CO ₂ /	千t
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	2019年度の排出量を基準に設定し、3年後の2022年度には3%の削減を計る。少ない排出量で多くの処理を行う事(燃費の向上)を継続した目標とする。						
第一年度	排出量	2,876	t-CO ₂	処理量	15.03	単位	千t
	削減率	11.09	%	原単位	191.34	t-CO ₂ /	千t
2020年度	調整後排出量	2,876	t-CO ₂	原単位削減率	4.42	%	
	削減率	11.09	%				
排出量等の増減理由	2020年度下期より低カロリーの処理物が減り灯油の使用量が減ったため。高カロリーの処理物は灯油使用量の削減にはなったが温度管理が難しく処理量は減ってしまった。						
第二年度	排出量	3,345	t-CO ₂	処理量	13.31	単位	千t
	削減率	-3.41	%	原単位	251.31	t-CO ₂ /	千t
2021年度	調整後排出量	3,345	t-CO ₂	原単位削減率	-25.54	%	
	削減率	-3.41	%				
排出量等の増減理由	昨年度以上の高カロリーの処理物となってしまった。そのため灯油の削減が期待できると思ったが、設備の老朽化による外気の流入、温度を維持しながらの炉内に溶融固化され付着した灰の除去等運転員では解決できない問題が多くあり、結果灯油量の大幅使用に繋がってしまった。						
第三年度	排出量	3,300	t-CO ₂	処理量	13.61	単位	千t
	削減率	-2.01	t-CO ₂	原単位	242.47	t-CO ₂ /	千t
2022年度	調整後排出量	3,300	t-CO ₂	原単位削減率	-21.12	%	
	削減率	-2.01	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	昨年度同様の高カロリーの処理物が多く搬入された状況になってしまった。それ故に灯油の削減が期待できると思ったが、設備の老朽化による外気の流入、温度を維持しながらの炉内に溶融固化され付着した灰の除去、機械トラブルの多発により削減が出来なかった。現状、運転員では解決できない問題が多くあり、結果昨年度以上の大幅使用に繋がってしまった。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	1749	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	1561	t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率	10.74	%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	1621	t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率	7.31	%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	1534	t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率	12.29	%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	2	3,235	2	2,876	2	3,345	2	3,300
合計	2	3,235	2	2,876	2	3,345	2	3,300

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	66	65	65	63
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	出張の際にはJRを使うなどの呼びかけを行っている。
自転車の利用促進	なし
来客者の交通対策	ホームページやパンフレットに最寄りの駅を記載している。
物流の合理化	往復で荷が積めるように配車を心掛けている。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2010
	名称	ISO14001	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄